



亀岡市立詳徳小学校 学校だより
令和3年度 冬休み号
令和3年12月24日発行 Tel:0771-24-5669

「輪」

いよいよ年の瀬が迫り、2021年も終わりを迎えようとしています。本日、終業式を執り行い、令和3年度の第2学期が終了しました。

緊急事態宣言が発令された中でスタートした2学期。体育授業参観の延期や陸上交歓記録会の中止と厳しい状況もありましたが、感染状況の落ち着きとともに、延期していた体育授業参観や修学旅行、学習発表会や授業参観を実施することができました。子どもたちが落ち着いて学習や行事に取り組めたのも、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の支えのおかげと心より感謝いたします。

さて、年末の風物詩となった「今年の漢字」(日本漢字能力検定協会)は「金」でした。東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍や、大谷翔平選手をはじめ、国内外の様々な分野で、今まで成し得なかった多くの「金」字塔が打ち立てられたこと等がその理由に挙げられていましたが、第2位との差は118票とほんのわずか(応募総数223,773票)だったそうです。

第2位に選ばれた漢字は「輪」で、東京五輪の「輪」という理由もありますが、コロナ禍の中、家族の輪や友達の輪の大切さを感じたことや、オリンピックの開催、コロナの感染拡大や地球温暖化の防止、SDGs等、世界が1つになって協力し合うことの重要性を感じた1年だったことが、「輪」を選んだ理由として多くあげられていたそうです。一人一人の活躍の素晴らしさとともに、みんなの喜びや幸せ、安心安全を守るためには、様々な壁を越えて、一つの「輪」としてつながることが何より大きな力となることを、「今年の漢字」から感じました。

長い2学期の学習を通して、子どもたちは目標に向かって一生懸命努力し、達成感や充実感を味わうことができたことと思います。また、コロナ禍でなかなかできなかった大縄大会等、なかよし班の活動にも取り組み、異年齢での関わりを持つことで、子どもたちの縦のつながりづくりも進めてきました。今後も、子どもたち一人一人の頑張りとともに、友達同士で、学年で、全校で様々な輪を作り、力を合わせる経験ができるようにしていきたいと思います。

いよいよ、明日から冬休みに入ります。約2週間の休みの間には、クリスマス、お正月等の行事もあり、ご家族で過ごされることも多いかと思えます。感染防止にはくれぐれも気をつけていただきながらも、楽しいひとときを子どもたちとともに過ごしていただければ幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様、安全協力員の皆様、防犯推進委員をはじめ登下校の見守りをお世話になっている皆様、読書ボランティアの皆様、そして地域の皆様、本校を支えていただき、誠にありがとうございました。来年も皆様の大きな輪で、子どもたちを包み込んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

